

米国ハイ・イールド社債 高水準な利回りの効果

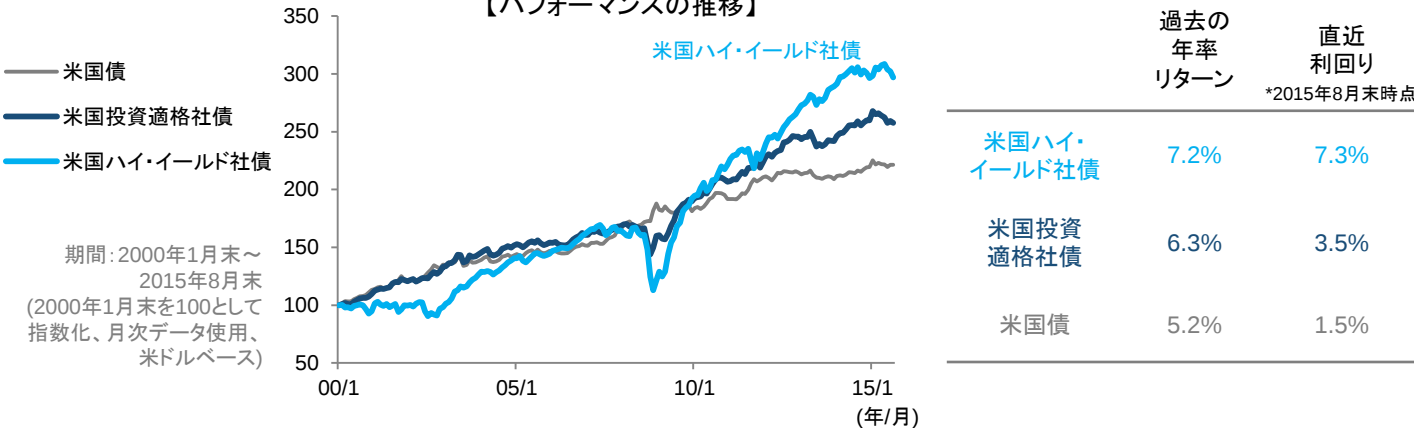
2015年9月24日

情報提供資料

様々な市場変動を乗り越えて、相対的に高い利回りの債券が良好なパフォーマンス
短期的な下落局面も、利回りによる積上げ効果(“クッション効果”)がカバー

- 相対的に利回りが高い債券投資は、長期で見ると相対的に良好なパフォーマンスとなっていることが分かります。
- 市場変動時においては、国債等がより安定的に推移する傾向がありますが、相対的に高い利回りによる積上げ効果(“クッション効果”)が、短期的な債券価格の下落をカバーし、米国ハイ・イールド社債は堅調に成長してきました。

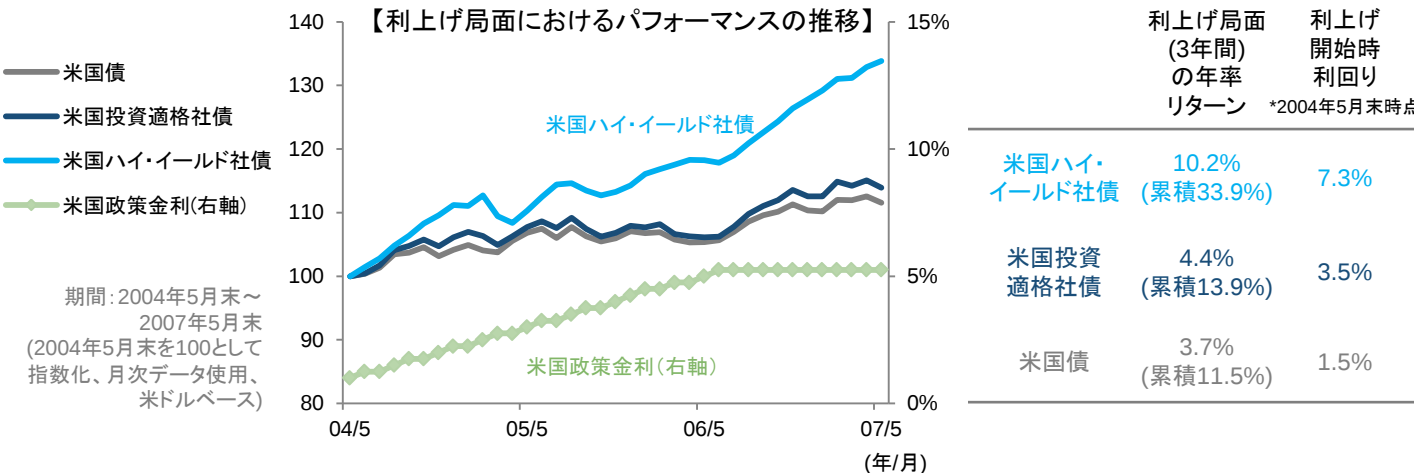
【パフォーマンスの推移】



前回の利上げ局面においても、米国ハイ・イールド社債は堅調に推移
相対的に高い利回りが、金利上昇による損失を吸収

- 通常、利上げ局面における債券投資では、金利上昇が損失の要因となりますが、米国ハイ・イールド社債に関しては、相対的に高い利回り等が貢献し、前回利上げ時においても堅調に推移しました。

【利上げ局面におけるパフォーマンスの推移】



出所: ブルームバーグ、パークレイズ 米国債: パークレイズ・USアグリゲート国債、米国投資適格社債: パークレイズ・USアグリゲート・コーポレート、米国ハイ・イールド社債: パークレイズ・USハイ・イールド

上記は経済や市場等の過去のデータであり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。指数値は実際の運用による結果ではありません。指数に直接投資することはできず、実際の投資において上記のような結果が達成できるとは限りません。

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。本資料に記載された見解は情報提供を目的とするものであり、いかなる投資助言を提供するものではなく、また個別銘柄の購入・売却・保有等を推奨するものでもありません。記載された見解は資料作成時点のものであり、将来予告なしに変更する場合があります。低格付けのハイ・イールド証券は、価格の大きな変動性を伴い、より高い格付けの債券と比較して大きな信用リスクにさらされる可能性があります。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(I)複写、写真複写、あるいはその他のいかなる手段において複製すること、あるいは(II)再配布することを禁じます。

© 2015 Goldman Sachs. All rights reserved. <13902-OTU-67608>

Goldman
Sachs

Asset
Management